

いじめ防止教育DAY 夢

『卒業生“濱田満さん”の夢を追いかける姿から学ぶ』

○ねらい

- ・ いじめの未然防止に向け、いじめにつながる言葉・行為に対し決して許されないものであることに気づき、自分自身の言動・行動を振り返り、事後につなげる。(道徳)
- ・ 学校行事を通して、望ましい人間関係を形成し、集団への所属感や連帯感を深め、公共の精神を養い、協力してよりよい学校生活を築こうとする自主的、実践的な態度を育てる。(特別活動)

○活動の概要

(日時) 2月17日(月) 13:45 ~ 15:30

(場所) ならやま小中学校 第一体育館

(内容)

- ・ 1部(児童生徒・保護者・地域) 13:45 ~ 14:35

◇濱田さんからのメッセージ(20分程度お話のあと、質問タイム)

⇒A: 今の仕事についての過程、その中での苦労や努力

B: 久保建英選手のエピソード

C: 後輩(児童生徒)に伝えたいこと



私は小中高と奈良で育ち、大学は大阪・教方の関西外国語大学のスペイン語学科へ進学しました。大学ではスペイン語を専攻していました。海外に興味を持ち始めたのは、

父兄が希望だった2歳年上の姉の影響です。ライバル心から自然と自分も勉強するようにになりました。

高校2年生のとき、オーストラリアから留学生がやってきました。もともと英語の授業の成績は良かったのですが、彼らと生活を共にしたとき、コミュニケーションがまったく取れなかったんです。そこから「もっと勉強して、海外に行きたい」と思うようになりました。スペイン語学科を選んだ理由は、みんなが話せる英語よりも価値があると思ったのと、サッカーにもつながると思ったからです。

小学生時代からサッカーが好きで、海外サッカーやワールドカップ、国内は高校サッカーまで、あらゆるカテゴリーの試合を録画して見ていました。アトラクタ五輪の予選をマレーシアまで観に行ったこともありますし、サッカーに飽む仕事ができたらいいなと、真剣と考えていました。

大学卒業後は一社企業に就職し、24歳からは在ベネズエラ日本大使館で2年間はたらきました。その後は、26歳で日本に帰国し、27歳から欧州サッカークラブなどのグッズを製造・販売していた東京の企業に入社しました。

ただ、その会社が入社から1年後に倒産してしまいました。ただ、FCバルセロナと日本を繋ぐ貴重な仕事。それがなくなってしまふのはもったいないと思い、独立して立ち上げたのが、今年で19年目を迎える株式会社Amazing Sports Lab Japanです。業務はFCバルセロナのソシオ(クラブ会員)の受付からはじまり、グッズ販売や観戦ツアーの企画、2007年から「バルサアカデミーキャンプ」を開始しました。

当時はSNSもなかったで、個人運営のファンサイトでソシオの会員募集をしました。バルセロナ側は「本当に人が集まるのか？」と半信半疑だったので、発表会をつくるときにファンサイト上でアンケートを取ったこともあります。「バルサのソシオに入会したいですか？」と聞いたところ、千数百件の回答が返ってきて、そのうち9割が「入りたい」という回答でした。最初は募集したときは、2週間程度で募集人数500人ほどが参加してくれました。

当時のバルセロナは、ライカールト監督のもと、ロナウジーニョがいて、メッシがトップチームに昇格して、盛り上がりを見せていた時期です。あの時代のど真ん中で、バルセロナの人たちと一緒にファンクラブ、スクール、グッズ、キャンプ、大会と、サッカークラブの運営に必要なことを経験してきました。「これで生きていけるな」と感じましたし、実際その後のまま、経験を最大限に活かしています。

そして2019年12月、奈良クラブの創設者から、面談電話がかかってきたんです。「社員をやってくれませんか？」と。

新拠点「ナラディア」が創設されたのは？

FCバルセロナと関わる仕事を始めてから、日本のサッカー界に対して「こうしたらいいのにな」と思うことが増えてきました。とくにトレーニングや育成の手法は、今までの自分が知っているものと全然違うと気づいたんです。

スペインで実際に関わる人は、実際に「見る」ことに興味を持っていて、多くの子どもたちが「プロになりたい」と口にはしますが、自分に何ができるのかわからないかたを正確に把握できていないケースは少なくありません。具体的なイメージが湧かないから、難しいんです。そのギャップを埋めることができれば、やらなければいけないことがハッキリします。

奈良クラブの新拠点「ナラディア」は、2層で中学生・高校生の選手寮にしました。朝起きた瞬間に車からトップチームのトレーニングが聞けますし、食堂ではプロ選手が何を食べているのか、どれくらい体が大きいのか、どんな話をしているのかも、すぐ近くで見聞することができます。自分とプロの距離感を測ることによって、何をしなければならぬのか、目標を明確にすることができます。

また「ナラディア」はコミュニケーションの拠点としての役割も担っています。トップチームとの距離が縮められていると、ユースの選手がトップの選手の顔を知らなかったり、声をかけあふのをためらってしまう。それはすごくもったいないことです。結局、人って自分の目で見たものからしか世界を想像することはできません。だからこそ、プロを目撃して家族にくる子どもたちにとって、このような距離感のいい環境が大切だと考えています。

奈良クラブに入りたてと聞てくれる選手を増やすために、まずはトップチームのスタイルを確立することが大切です。子どもたちを試合に招待したり、練習場をせたり、目標となる実を目の前で見ることでできる機会をクラブとしてつくっていきたいです。

* A2区画によるインタビューより抜粋

- ・ 2部(保護者・地域) 14:45 ~ 15:30

◇濱田さんとのセッショントーク&濱田さんに聞いてみよう！

簡単なスペインの子育て事情を説明したあと、モデレーター(岸下)のもと、保護者・地域からの質問に答えながらすすめていく。

* 本の紹介 ・ PADLET活用

濱田満さんに聞きたい事

○スポーツをする事の人生における意味、スポーツの本質ってなんですかね？

○運動が苦手な子は人生の中でスポーツとどのように関わっていいかわかると思いますか？

○子どもをサポーターするってどういう事でしょうか？

○親として一歩引いてあげればいいのか？逆に手をかけすぎない方がいいのってどんな所？

○世界を目標する子どもや世界で活躍する選手たちの様子。その子ども達の夢の継ぎ どんなマインドでやっているの？ 何か共通するものなどありますか？

○子どもたちを指導する。監督はどんな事に気を配っていますか？

○子どもを指導する時はどのように褒めておられますか？どのような所に気を配っておられますか？

○どのような環境や経験をさせてあげたいと思っている子どもにはどのような心持ちで褒めておられますか？どんな声かけをされていますか？

○濱田さんは子どもの頃(平城西中の頃) どんな風に過ごしていましたか？

○岸下先生との子ども時代のエピソードもあれば聞きたい(笑)

○資料1

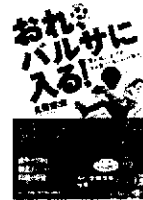
・SOCCERKING

『自らたぐり寄せたバルサとの契約「20代で圧倒的な地位に立ちたかった」』より

○資料2

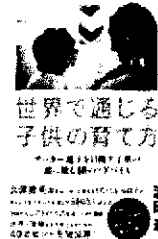
・本の話 作者と読者を結ぶリボンのようなWEBメディア
『[特別インタビュー]

浜田 満 建英には“バルサスタイル”がある』より



○資料3

・『世界で通じる子供の育て方 サッカー選手を目指す
子供の親に贈る40のアドバイス』



○資料4

・『FCバルセロナのメソッドから学ぶ、子どもの考える力を養う方法。』

浜田満インタビュー（後編）(1/2)』MELOSより

○その他

本校では毎学期“いじめに関するアンケート”を行う日を『いじめ防止教育DAY』と定め、1学期を『友』、2学期を『命』、3学期を『夢』とテーマに教育活動を行ってきました。

3学期の今回は、テーマである『夢』に合わせ、奈良クラブ代表取締役社長濱田満さん（卒業生）をお招きし、今のポジションにつくまでの波乱万丈なストーリーを児童生徒に聞いてもらい“夢を諦めない気持ち”を芽生えさせると同時に、夢を追う中で“人”とのつながりが大切であることを感じ取り、人を大切にする気持ち、いじめは許されないものだとしてより強く認識してもらえればと考えています。。

第2部の保護者向け講演会では、サッカー（スペイン）で感じ取った、世界基準の子育てについてお話してもらいます。

「サッカーに興味ないから、。。」全然OKです！

サッカー選手になるためのお話ではありません。

スペインではこんなこと大切に子育てしていますよといったお話になります。

例えば、

- ・子どもの自立のためにはどれくらい親が関わっているのか？
- ・どこまで親が教えているのか？
- ・指導者はどんなところをどのように褒めるのか？
- ・スペイン（バルサスクール）で大切にしている5つの教訓 等です

セッション形式で行う中で、PADLET等のアプリを使いながら、参加できる形での進行も考えています。

また、今後もこうした、保護者の皆様・地域の皆さまと“子育て”について考える場を積極的に設けてまいりたいと思います。ぜひ、一人でも多くの方のご参観お待ちしております。

担当：マネジメント部・地域担当・生徒指導主任（小学部）岸下 哲史

参加お申込みは ならやま小中学校 PTA narayamapta.220614@gmail.com まで
氏名、参加人数をお知らせ願います（2月10日 月曜締め切り）